

認定NPO法人
REALE WORLD

REALE WORLDは
100年後も人間の社会が持続可能であるように
多様な「個」が力を発揮し
共存しながら成長し続けられる未来の
実現を目指しています。

そのために、次代を担う青少年の「個の力」
(能力・才能・感性・可能性など)が
発見・育成・発揮される
「環境」と「きっかけ」を提供しています。

SNSフォロワー1万人キャンペーン実施中!

FB、Instagramのフォローやシェアでの応援お願い致します。



ホームページ



FB



Instagram

リアーレワールドの公式サイトやFB、Instagramで
活動を随時報告しています。ぜひご覧ください。

認定特定非営利活動法人REALE WORLD
〒413-0231 静岡県伊東市富戸1317番地5030
TEL 0557-51-5227 FAX 0557-52-4240
nporealeworld@gmail.com

令和3年度 REALE WORLD 年次報告書

ANNUAL REPORT 2021

2021年4月～2022年3月



代表理事からのメッセージ

2021年度も たくさんのご支援を ありがとうございました。

今、私は、子どもたち、青年たちと向き合う中で、得ている情報の多さに驚いています。コロナ禍で、より情報収集に拍車がかかったように感じます。

情報を得ることはとても良いことですが、「何のため」が見えていない、情報が全てで体感がない、体感がないので行動スイッチが入らない、などの弊害が生まれてきていることも、実感しました。

私たちの多岐にわたる活動は、多様な「個」に対応するためのツールです。

すべての活動において、ここでは「体感」を通して得られる「知恵」、そして、生み出されたアイデアを実行する「行動力」が身につけられます。

行動規制が緩んできた2022年度のレアーレワールドは人と人、人と自然のふれあい、その中から「体感」し、そこから得られる「知恵」にフォーカスし、「行動」を起こしていく力を育むことに、全力を注いでいきたいと考えています。

感じ、考え、行動する、その先に未来がある。

世界がコロナ禍を経て、動き出した今だからこそ、行動することが今まで以上に重要になる、そう感じています。

Future = Dream × Action



認定NPO法人REALE WORLD
代表理事 三好 彩

感じ、考え、行動する。その先に未来はある。

近年にはない、世界規模での混乱が起きた2021年。それによって社会のルールや生活が変化していく様を経験し、私たちの生活、そして人生は、世界の変化にとても大きく左右されている、それを目の当たりにし、実感しました。

同時に、だからこそ一人一人の「個」が、状況を観察でき、自分を理解し、その上で、自分の考えを持ち行動するならば、どんな社会になろうとも、自分の目的を達成することができる！ その確信も得ることができました。

レアーレワールドは、すべての活動において、「個」にフォーカスし、「個」を育てることに力を入れています。

もう少し詳しく言うならば、私が使う「個」とは、世に言

う「飛び出たものを持っている」というようなことではなく、命を持って存在する一人、という意味の「個」です。

そして、そうした「個」が確立されていれば、起こる出来事に対して、どうすることがベストなのかを一人一人判断することができ、判断力を持った一人一人によって作られる集合体=社会は、健全な世界へと進んで行く。そう考えています。

自分を理解して、自分を生かす生き方のできることを、それが「個の確立」です。

2021年は、世界の流れによって図らずも、レアーレワールドが「個」に取り組んでいることの意味と意義を体感し、

実感する年になりました。そして、団体として、今こそ長期的な視野を持って展開すべき時と捉え、活動を振り返り、人を育てていく中で必要なことは何か、自分たちができることは何かを見つめ直し、よりシンプルに、より深く活動していくための準備に取り組みました。

2022年度のレアーレワールドは、活動に参加される方一人一人が、目的を感じ、理解し、個々の得意を集め、目的に向かって行動できる場を作ります。

そして、大人が、子どもや青年の様々な生き方のお手本、ヒントだということ、それを感じてもらえる「機会」「場」を作っていけるよう活動します。



FC REALE JAPAN

FCレアーレ・ジャパン

静岡県伊東市及び近隣の小学生

60人

**子ども＋保護者＋コーチ＋サポーターが
One Familyになって
みんなで「個＝子」を育てる!**

FCレアーレはサッカークラブですが
サッカーの上達だけでなく
関わる子どもたち一人一人の人生をガイドし
それぞれが「個」を確立し
自分らしく生きていける力を身につけられる環境作りに
コーチや保護者、サポーターみんなで取り組んでいます。



社会活動



土砂災害で被災した熱海市。作業にあたる自衛隊の皆さんが駐屯している姫の沢公園に、感謝の意を表して手紙を届けました

社会活動



途上国の子どもたちに靴を贈る送料を集める目的で取り組んだフリーマーケット

社会貢献



伊豆栄光富戸保育園の園庭の芝植えにFCレアーレの高学年がお手伝いとして参加

2021年度も前年に引き続きコロナ禍にあり、行動制限を強いられましたが、そんな中でも、日本のFCレアーレは、伊東市富戸をベースに、歩みを止めることなく活動を続けました。

サッカーの練習はもちろんですが、子どもたちが積極的に社会と関わって行動する機会をつくることにも力を入れた1年。フリーマーケットでは、売り方や、お客様への声の掛け方などを、子どもたち自身が考え行動することができました。

オンラインによるネパールの子どもたちとの交流会もスタート。全く違う文化に生きる子どもたちとの交流で、視野を広げてもらうのが狙いです。また、コーチや保護者をはじめ、子どもたちと関わる大人たちの姿勢や生き方が、子どもたちに与える影響の大きさを感じた1年でもあり、2022年は全員が一つのファミリーになり、大人も子どもともに成長できる環境づくりに、さらに力を入れていきたいと考えています。

食育



人として大切なことを食を通して学べる岡田竜一先生の食育講座

ガイダンス



子どもたち一人一人と向き合い、挨拶の大切さ、目的を持って本気で取り組むことの大切さを語る三好代表理事とサントス理事

国際交流



全く違う文化に興味津々!日本とネパールのレアーレキッズのズーム交流会



生活指導プログラム「ユニフォームを自分で洗おう」を11月に実施

FC REALE NEPAL

FCレアーレ・ネパール

ネパールのティミ地区の小学生～高校生 **130人**

**どんな環境に生まれても
夢を追いかけることができれば
人は笑顔でいられる**

ネパールのFCレアーレは
どんな経済状況でもサッカーができる環境を提供することで
子どもたちが非行に走るのを防止し
サッカーを通して、挨拶やマナーを学び、生活習慣を見直し
望む未来を実現するための
人間力を育むことを目標としています。



文化



色を掛け合って祝う伝統的な春の大祭「ホーリー」を全員でお祝い

ネパールのFCレアーレは、首都カトマンズの郊外のティミ地区で活動しています。
2021年5月～7月は、新型コロナの影響により練習が中止されていましたが、8月からジュニア、ジュニアユース、ユース及びガールズチーム(ユース)の練習を再開することができました。
コーチは、FCレアーレ社会人チームの選手たちがボランティアで行ってくれています。
2021年度は、手洗いや洗濯を学ぶワークショップの開催や考える力をつけるサッカーノートの導入に加え、子どもたちの食事について保護者とミーティングする機会も設けるなど、サッカーを通じた子どもの健全育成プログラムがさらに充実しました。

女性支援



女性差別が残るネパールで、女子がスポーツで活躍することをサポートし、女性の社会進出を応援

思考力



ジュニアユースの子どもたちには、自分の目標と課題を考える習慣作りのためにサッカーノートを配布

食育



アスリートファームの岡田竜一先生の教えにならい練習後のおやつを持参するようになった子どもたち

社会貢献



毎年恒例になっている雨季明けのグラウンドの草刈り作業はコーチと選手全員で行う



ボーイズもガールズも観客も
熱く盛り上がった6日間!

2021年4月 **220名**

カトマンズ近郊の小学生~高校生

男子U-12、男子U-15、女子(年齢制限なし)の3つのグループにて試合を開催しました。

男尊女卑の風習が残るネパールだからこそ、スポーツを通して女性の自立をサポートしていくことにも力を入れています。



個人エントリー方式で
初心者の子どもたちにも
サッカー体験を!

2022年3月 **125名**
ティミ近郊の小学生

初の個人エントリー方式を取り入れ、サッカークラブに所属していない子どもにも、試合の機会を提供し、大好評を得ました。

125名の選手は、U-13の6チーム、U-11の4チームに分けられ、FCレアーレユースの選手たちがコーチを担当。コーチ育成の機会にもなりました。

試合の機会の少ないネパールの子どもたちにも
思いっきりサッカーを楽しんでもらおう



History of FC REALE NEPAL

FCレアーレ・ネパールの歩み

代表理事の三好彩が、ネパールを初めて訪れたのは2004年のこと。自身の経営するフェアトレードショップでネパール製のものを取り扱っており、どんな人々がどんな風を作っているのかを自分の目で確かめたいという思いからでした。

それから何度も現地を訪れ、ネパールの生産者さんたちとの交流を深める中、ご縁があり、現地のサッカーコーチと知り合いました。

それが、現在のFCレアーレ・ネパールのバル・ゴバル監督であり、彼の協力を得て、日本に続き2013年、ネパールのティミ地区にてFCレアーレがスタート。サッカーがしたい子どもなら誰でも無料で受け入れ、スタートと同時に200人以上のキッズが集まりました。

しかし、団体が大きくなると様々なトラブルも生まれるもの。女性が上に立つべきではないと言われ、罵倒され、水をかけられ、ベンを投げつけられ、自分が作ったチームから追い出されそうになりました。

仕方なく一旦チームを解体して、バル・ゴバル監督と共に、再びゼロから立ち上げ直して今のFCレアーレがあります。

2015年ネパール大震災時には、ティミ地区も被災し、しばらくは復興活動優先で、サッカークラブも休止となりましたが、多くの方々の応援により翌年には再開。

2017年には、クラウドファンディングにて日本の多くの方の支援を得て、市と交渉し、市所有の土地を整備し、フェンスをはり、子どもたちがサッカーなどのスポーツを楽しめるグラウンドを確保することができました。FCレアーレのトレーニングで活用するのはもちろんのこと、レアーレカップの開催場所にもなっています。また、サッカーの練習のない時は、地域の子どもの遊び場として活用されています。

現在、設立当初からのキッズたちが青年となり、ボランティアコーチとして子どもたちに指導してくれています。レアーレがあったから、非行に走らずにすんだ、ここまで頑張れた、そう言ってくれる青少年がいます。

多くの支援者の方々のおかげで、活動を継続できたことに感謝し、これからの歴史も、皆様と一緒に作ってまいりたいと考えています。



ヒーローは、いつでも僕たちに
希望と勇気を与えてくれる!

HERO PROJECT

ヒーロープロジェクト

ヒーロープロジェクトでは
子どもたちのヒーローとなるべき若者の育成に取り組んでいます。
ここでいうヒーローとは、自分の目標に向かってチャレンジし、努力でき
自分の道を自ら切り拓き、その生きる姿から
周りの人に勇気と希望を与えることができる人。
そんなヒーローを目指してチャレンジし続ける若者たちを
ヒーロープロジェクトはサポートしています。

**コロナ禍でも歩みを止めるな!
チャレンジし続けた
ヒーローのたまごたち**



ヒーロープロジェクト リーダー
キランクマール リンブー

ネパールサッカー界をリードするキラン選手。国内リーグだけでなく、国際試合ではネパール代表キャプテンとして活躍。昨年4月にはアジアサッカー連盟のウィークリーアジアベストプレイヤーに選出。ヒーロープロジェクトリーダーとして若手育成にも力を入れる。

【JAPANESE HERO】 栗山優也選手ネパールプロリーグで活躍! 三好茜選手天皇杯デビュー!



2021年度は、日本のヒーロープロジェクト育成選手たちが、大きな飛躍を見せてくれました。静岡産業大学4年生の栗山優也選手(GK)は、ネパールのトッププロリーグのAPF.FCと契約。契約後は、全試合出場し、下部リーグに降格寸前だったチームを救い、1月に行われたトーナメントでは決勝戦のPKで見事なセーブを見せ、チームを優勝に導きました。自身もベストゴールキーパー賞を受賞と大活躍を見せてくれました。
三好茜選手は、アメリカから帰国後、9月からなでしこリーグ2部「静岡SSUポニータ(当時はアスレジーナ)」所属。10月には、果敢なるチャレンジが静岡テレビの「ただいま!テレビ」でも取り上げられました。11月に開催された天皇杯では、初公式戦初ゴール、3月のリーグ開幕戦では、1ゴール1アシストを決め、見事なデビューを果たしました。

【FROM ZERO】 FC REARE プロ昇格リーグチャレンジ



FCレアーレの社会人チームをゼロからプロチームに育てる、それがFROM ZEROです。アジアサッカー連盟A級ライセンスを持つバル・ゴバル監督の下、サッカーの技術はもちろんのこと、食事や体のメンテナンス、メンタル面を学び、かつ献血や地域清掃などの社会活動も積極的に行い、ネパールにおけるモデルチームとなることを目指しています。昨年度は、プロ昇格を目指して、リーグ戦にチャレンジ。あと1勝のところまでプロ昇格は果たせませんでした。2022年度も引き続き、挑戦し続けます。

畑中梁一先生から、オンラインにて体のメンテナンスについて学ぶ

【PARTNERSHIP】 他団体と協働してリーダー育成

若手リーダー育成のため、外部のチームとも積極的に協働しました。ネパールでは、プロサッカーチームのCYC(チャッスルユースクラブ)の選手とともにサントス理事がプレーしながらの指導。日本では西南学院大学サッカー部とパートナーシップを結び、共に活動しています。



ネパールのプロサッカークラブCYCの選手育成活動



サントス理事と西南学院大学サッカー部の選手たち

【NUTRITION CONSULTING】 岡田竜一先生によるアスリートための栄養コンサルティング



ネパール渡航前に栗山選手にパーソナルコンサル



オンラインにてネパールのFCレアーレのユース選手に指導

Athlete Firm代表の岡田竜一先生を講師に迎えて、ヒーロープロジェクトの育成選手たちに、プロのアスリートに欠かせない栄養面からみたコンサルティングをしていただきました。
栗山優也選手、三好茜選手、CYCのアビシエック選手はじめ、FCレアーレの選手たちが、食事のアドバイスに留まらず、一流のプロ選手に必要な心構えまで指導していただきました。



U-12 REALE CUP 2021

中伊豆ワイナリーヒルズ サッカースタジアム

2022年10月30日
静岡県の小学生&保護者

200人

日本で育つ子どもたちに 「本気」になれる場所と 「社会貢献」するきっかけをつくる

REALE WORLDは、一人一人が自分を理解し
自分を活かす生き方ができる人間になる
そのための「環境ときっかけ」を作り続けます。
レアーレカップも、その1つ。
今の日本の子どもたちの育ちに足りない
2つのポイントにアプローチしています。

●出場チーム●

- ALA裾野
- ANTHEM SOCCER CLUB
- さなるスポーツ少年団サッカー部
- 裾野西サッカースポーツ少年団
- SEPALADAスポーツクラブ
- FC VENTURA
- Mare FC
- FC REALE

子どもたちが「本気」になる 別次元の環境を 大人たちが「本気」でつくる

別次元の環境をつくる ①

前日からの会場セッティング

今大会は、中伊豆ワイナリーヒルズでの開催となりました。会場セッティングのためベストプロデュースの方々を始め主要スタッフは前日から会場入りして準備を開始。当日も早朝から保護者が集まって設営を行いました。芝生のグラウンド、その向こうに富士山を眺める心高鳴る会場が舞台となりました。

別次元の環境をつくる ②

プロが支える舞台裏

プロのゲームのように音楽と共に入場。MCが選手の名前を読み上げ、試合が始まると、活躍の場面、その一瞬の表情をカメラマンが追う。同時に、AIカメラによる動画配信で、会場に来られなかったチームメンバーにも試合経過がライブで届けられる。ファイナルゲームでは、生演奏でのファンファーレが会場に響き渡る。たくさんのプロの方々の惜しみない協力のおかげで、子どもたちの心に火がつく環境づくりが出来ています。

別次元の環境をつくる ③

活躍への賞賛は惜しみなく

マンオブザマッチの選出、全試合を通してのMVPやベストGK、DF、MF、FW、得点王など、選手の活躍に対する表彰には、トロフィーやメダルのほか、スポンサー企業からの副賞もあり、素晴らしいプレーを惜しみなく賞賛することができました。

人助けランキング世界最下位とされる日本*

しかし、「思い」がないわけではない

レアーレカップは、思いを行動につなげる「きっかけ」

*英国「チャリティーズ・エイド・ファンデーション(CAF)」公表のインタビュー報告書(2019・2020)

世界の国々と比較して、社会貢献が暮らしの中に「文化」という域では根付いていない日本。思いがないわけではなく、思いを行動で表現する機会や仕組みが少ないと考えるならば、その場を用意し、それをきっかけに次の一歩を踏み出してほしい。

「参加費は、誰かにプレゼントできる君のシューズ」それがレアーレカップの参加条件。REALE WORLDは、取り組みのすべてが、望む未来につながるアクションであることを目指しています。

当日に至るまでの数ヶ月に及ぶ、関係者と保護者の熱心な取り組みによって開催することができました。

One Team, One Family その底力を肌身で感じる時間でした。



今回集まったシューズ**124**足は
元サッカーエチオピア代表で経営者の
ヨナス・シレシさんのご協力を得て
エチオピアの団体に届ける予定です。



【Voice】本気と社会貢献 それぞれのレアーレカップ

FCLレアーレと参加チームの声

●FCLレアーレ

5、6年生で作ってきた大会だったから、いつもの試合とは全然違って感じられた。試合では、普段練習していた場面が来て、ヘディングが決まってすごく嬉しかった。試合は、ミスで失点して悔しかったけれど、自分なりにモチベーションを落とさないよう頑張りました。今回良い結果が残せなかったけれど、次のレアーレカップでは、FCLレアーレが1位をとってほしい!

長田蒼空選手

卒団前にこの大会を経験させたいという強い思いが私にあり、準備も率先して取り組みました。当日早朝から下級生のご家族も手伝いに来られ「チーム」の良さを実感。普段レギュラーではない子どもも、この大会を目標に頑張り、出場の夢を叶えました。子どもの心に火をつけたマンオブザマッチ。子どもの「挑戦」を感じました。「本気と社会貢献」がテーマですが、子どもも親も、全部「本気」の大会でした。

山田真己さん(保護者)

本気で優勝を目指したものの敗退。全員落ち込みましたが、みんなの応援を思い出し、感謝の思いが湧いてきて、エチオピアに靴を届けるまで頑張ろうと誓いました。そこから変化が始まりました。課題が浮き彫りになっても、誰かの一言で空気が変わる。「全員で乗り越えていこう」。泣いていた子ども、文句言っていた子ども、不貞腐れていた子どもをしなくなり、一人一人変わっていきました。感謝。そして自分と仲間を信じることの大切さ。今大会は、彼らが大きく成長するきっかけをくれました。

三好言コーチ

●ALA裾野

音楽、プロのMCやカメラマン付きで、プロの雰囲気味わえて楽しくプレーができた。大会で優勝できて嬉しかった。

土屋尋跳選手

子どもたちが楽しくサッカーをしている姿を見て、親としても嬉しかった。いつもと違う素晴らしい環境でプレー出来たことは良い経験になったと思う。

土屋由衣さん(保護者)

素晴らしい大会に参加させていただきありがとうございました。これまでにない環境でプレーできて良い経験になったと思います。最後にFC REALE監督三好様をはじめ保護者の皆様、大会の企画運営をして頂いた皆様に感謝申し上げます。

土屋雅典コーチ

●SEPALADAスポーツクラブ

大会後、子どもたちの様子がどこか違う。プロに近い試合環境を体感して、まさに「本気」になって、サッカーに取り組む姿勢に真剣さが出てきました。今回は負けて悔しかったのですが、同時に私たちがこういう大会をしたいと熱くなりました。私はサッカーの指導者ですが、子どもたちに「プロになれ」ではなく「いいやつになれ!」と言っています。サッカーは人間育成のツールだと思っています。「指導者」の自負を持って本気でやる。その思いを大いに刺激された大会でした。

田中和喜代表

●さなるスポーツ少年団サッカー部

コロナでずっと観客がいなかったのに、会場に人がいっぱいいて驚いた。試合では、レアーレから1点決めて嬉しかった。ジャイアントカズキさん、かっこよかった。栄養の話も大事ってわかった。僕は、よく募金をします、今の自分にできることだから。参加費が自分のシューズっていうのも、人のためになるからいいと思った。レアーレカップに出ることができてありがたいです。

森本蒼亮選手

常識を越えた大会でした。コロナ禍で、無くて当たり前になっていた開・閉会式があり、参加費が「靴」とか。ジャイアントカズキさんのことは、帰りの車中でも盛り上がり。食育講座も、その後、子どもなりに意識している様子が見えます。子どもは知らぬ間に自分に必要なことを習得する力をつけている。この大会を通して、彼らの成長を実感しました。朝4時出発もなんのその!この経験はずっと心に残ると思います。将来OB大会をやってほしい。その日を楽しみにしています!

森本亜衣さん(保護者)

試合ごとの入退場、マンオブザマッチの表彰など「いい大会だ」と保護者もみなさんおっしゃっていました。ジャイアントカズキさんのYouTubeを子どもが楽しそうに見ているのは知っていたのですが、本人の姿を見て、あまり感情を出さない子がすごく嬉しそうでした。

横原貴之さん(保護者)

●ANTHEM SOCCER CLUB

試合毎のマンオブザマッチに本気になりました。大事にしていたシューズ。捨てるんじゃなく使ってもらえるのは嬉しい。受けとってくれるエチオピアの人に頑張ってもらいたいです。

武内秀磨選手

会場に入る前からBGMやMCのアナウンスが聞こえ、選手紹介がされていて、「本気だ」とテンションが上がりました。社会貢献のシューズの寄付。子どもにとって大事なシューズは、なかなか捨てることができません。このような機会をいただき役立ててもらえるのは嬉しいです。

武内康介さん(保護者)

「本気と社会貢献」という明快な目的があってわかりやすく、社会貢献も、集めたものがここに運ばれ、どのように使われるのかが明確で、偽善がない。子どもの視野を広げる取り組み、そして、地域に応援されるチームになる努力。レアーレカップには、私たちの思いと重なるところが多々あります。

並木卓コーチ

●裾野西サッカー部スポーツ少年団

一番印象に残っているのは「マンオブザマッチ」。1試合目で実際に選ばれて、俄然やる気になりました。すごくモチベーションが上がったし、MVPのインタビューはすごく気持ちよかった。

渡邊のり選手

レアーレカップでは、審判や運営などの保護者の手伝いがなく、試合をゆっくり観戦できました。表彰式で予定されていた保護者の表彰。今回は該当なしでしたが、これだけの大会を運営されていたFCLレアーレの保護者の方々にこそ、賞を贈られたらよかったのでは!と思いました。

渡邊晋輔さん(保護者)

コロナ禍で自分の子どもの観戦もままならない中、保護者は「より近いところで応援できた」と嬉しそうでした。子どもたちも久しぶりに本気で目一杯走ることができて、本当によかったです。「社会貢献」もテーマの大会。子どもたちはどこまで理解しているかわかりませんが、全部理解できなくても、何かしら彼らの心の中に残っていると思っています。

白木賢太郎コーチ



開催を支えてくださった皆さんからの応援メッセージ

普段と違う経験は「考える機会」であり、すごく価値あること。子どもたちを見て、大人がどこまで彼らに本気になれるか、泳がせられるか、考える機会になりました。いっそ「親チーム」を作って競い合うのはどうでしょう。淡々とこなしていただけない姿を子どもに見せたい。今、大人の度量が試されている気がします。

●ジャイアントカズキ/ゲスト

自分の体に気づけることはスポーツ選手に限らず、人生を「本気」で生きていく上で大切。子どもたちは、これをきっかけに、自分の体に「気づける人」になってほしい。

●岡田電一さん/食育講座 講師

自分のレベルは今すぐ変えられないし、監督にはチームとしてやりたいことがあるけれど、そんな中でも、自分で考えイメージしたことを精一杯体現する、そんな「意志あるプレー」「勇気あるプレー」に希望を感じた。

●坂田記一さん/セレクター

大人が、子どもの大会にこんなにも本気で動いている。子どもたちに伝えたい、もっと声を、自分を出していい。君たちはいい環境にいるんだよ、と!

●三村久美子さん/協賛企業

レアーレカップは、子どもが主役で本当に楽しい。それが子どもたちの表情にありありと表れています。私はスポーツ写真が好きです。自分の写真技術で大会を手伝えるのが本当に嬉しいです。

●杉崎真一さん/カメラマン

U-12 REALE CUP 2021開催を支えていただいた企業・個人の皆様

ご協力ありがとうございました!

(敬称略)

【協賛】

- 株式会社あすさば Atelier. YOKO UEDA
- 伊豆シャボテン動物公園グループ
- 株式会社伊原工業 もみほぐし道場いやしMAX
- SSP Group株式会社 大場晃利
- 片岡大輔 有限会社木村衛生社
- 株式会社ジュエルオート G-word 株式会社ピクス
- 秀丸 makahou 三村商事 ミラコロ合同会社

【物品協賛社様】

- 株式会社ネオライズ KLANKA
- 魯山人倶楽部株式会社
- ファイテンショップららぽーと沼津店

【クラウドファンディングスポンサー 寄付社様】

- 株式会社スーパールーナ Cloud 9
- Pizzeria gitalia da Filippo
- 有限会社 三村商事

【協力】

- 制作/株式会社ベストプロデュース
- MC/つつみ慶
- カメラマン/杉崎真一
- 映像撮影/津曲裕之・浦田拳一
- 演出協力/合同会社アーツイン/ペータジャパン
- WFP LOGOデザイン/上田陽子
- ポスターデザイン/hane.art
- 参加証明書筆耕/乙坂明美



WORLD FRIENDS PROJECT

ワールドフレンズプロジェクト

ネパールの小さな村の農家のお母さんたち
カトマンズで豆を選別し、パッキングする工場のお母さんたち
靴を受け取った途上国の子どもたち
そんなみんなの笑顔を想いながら飲むコーヒーは
心をじんわり温めて、幸せな気持ちを運んでくれる。

美味しい × 寄付 = HAPPY

それがヒムカフェです。



誰かの夢を応援する
その小さなアクションは
子どもたちが夢に向かって走る力になる。
明るい未来につながる道になる。

Future = Dream × Action

毎朝のヒムカフェで、子どもたちの夢を
応援しませんか？

COFFEE PROJECT

コーヒープロジェクト

ネパールの小規模農家やコーヒー工場働く女性 **80名**

レアワールドは、ネパールのコーヒー豆の輸入販売を通して、ネパールの小さなコーヒー農家や立場の弱い女性たちの仕事づくりをサポートしています。コーヒー販売から得た利益は、途上国の子どもたちにサッカーシューズを届けるための費用に当てられ、子どもたちが夢や希望を持って前向きに生きるきっかけを提供しています。

たくさんの方にご賛同いただき、ご購入いただいています。

本当にありがとうございました。

フルーティで、苦味と酸味のバランスが良く、爽やか。
飽きのこない飲みやすいオーガニックコーヒーです。

1袋250g入り ¥1,870 (税込・送料別途)

定期便はお得な **¥1,620 (税込・送料別途)**



ドリッパーやギフトセットもご用意しています

Him Cafeのお問い合わせはこちらまで



コーヒープロジェクト動画



オンラインショップ

ヒムカフェのご購入はオンラインショップからどうぞ！
ドリッパーや定期便も扱っております。
<https://shoprealecoffee.stores.jp/>



ケニアの
子どもたちに

サッカーシューズと
希望を届けたい!!

クラウドファンディングでは
189名のご支援を受け
1,595,000円達成しました!

2020年の春、船便でケニアに送ったシューズが、途中行方不明になり、翌年、違う国の港で発見され、日本に送り返されるという出来事がありました。今度こそ、段ボール10箱のシューズたちを確実にケニアに届けたい！そこで送料を集めるためにクラウドファンディングを2021年10月に実施。たくさんの応援を得て、目標達成！おかげさまで2022年1月にケニアに空輸することができました。

本当にありがとうございました!

CROWDFUNDING

クラウドファンディング

たくさんの著名人の方々にプロジェクトにご賛同いただき、応援コメントをいただきました。
心から感謝申し上げます。



安彦考真さん
挑戦者



鈴木雄斗さん、遠藤保仁さん、大津祐樹さん
プロサッカー選手・Jリーグ ジュビロ磐田 所属



佐藤勇人さん
サッカー元日本代表
ジェフユナイテッド市原・千葉CUO



佐々木広行さん
株式会社プロラボホールディングス
代表取締役会長兼CEO



矢野マイケルさん
ミュージシャン、元プロサッカー選手



大沢樹生さん 俳優



堀井新太さん 俳優



ワールドフレンズプロジェクトは、『サッカーシューズを通して 遠い国の青少年の人生を応援する』プロジェクトです。



ネパールからたくさんの
ありがとうございますが届いています!

2021年度にネパールにお届けした寄付品
サッカーシューズ **130**足 ユニフォーム類 **520**着



たくさんのご寄付を
ありがとうございました!

2021年度にご寄付いただいた品
サッカーシューズや
スパイク **307**足
ユニフォーム類 **500**着以上

2022年1月
空路にてケニアへ発送

2019年3月開催の
レアーレカップで寄付された靴 **132**足
YOKOHAMAまごころ基金、および横浜ゴム株式会社様
のご支援により空路にてケニアへ送りました。

2020年度にご寄付いただいた
新品のサッカースパイク段ボール箱 **10**箱

クラウドファンディングでのご支援により
空路にてケニアへ送りました。

※ケニア現地では、2022年5月に配布致しました。

ワールドフレンズプロジェクトにぜひご参加ください!

ワールドフレンズプロジェクトでは、『サッカーシューズ+送料』あるいは
『送料』の応援という形で、ご参加して下さる方を、募集しています。

- 1:シューズ1足+送料2,000円
- 2:送料をお金で寄付(2,000円以上でご希望の金額)
- 3:コーヒープロジェクトのコーヒーを購入

※海外に荷物を送るには、送料と関税、現地での輸送料がかかります。
そのため、物品のみのご寄付は現在承っておりません。
※新品、ほぼ新品(数回の使用のみ)あるいは状態の良い中古品のみ受け付けています。
ギフトとしてもらって嬉しいかどうかを基準にご判断ください。
※ユニフォームについては、10着以上揃っているもののみお受けしています。
また、1キロあたり送料2,000円もご一緒をお願いしています。
※そのほかのものに関しましては、お問い合わせください。



ワールドフレンズプロジェクトについて詳しくはこちらをご覧ください。→

誌面に限りがあり、ご寄付いただきました品の一部のみのご紹介となりましたこと、ご了承のほどお願い申し上げます。

REALE ACADEMY

レアーレアカデミー ～学びの場～

子どもから大人まで すべての人が学び 成長できる環境を!

青少年はもちろんのこと、すべての人に
自身の持つ能力や才能、感性、可能性に気づき
それらを発揮して
自分の人生を切り拓いてほしい!
そんな思いからより多くの人に参加いただける
「学びの場」作りにも
2021年度から力を入れ始めました。



GROUND PROJECT

グラウンドプロジェクト



みんなで作り上げる ボーダーレスな交流と学びの場

伊東市富戸に建設予定のレアーレグラウンド。
2021年度には、測量を行い、工事に必要な申請書作りなどの
準備を行いました。

海が見える美しい土地で、子どもたちが駆け回り、汗を流し、笑
い、大人はそんな子どもたちを全力でサポートし、それにより充
実感を味わい、やがて日本各地から、さらには世界各国から
多くの人を訪れ、地域全体を活性化していく。そんな未来を思
い描きながら、グラウンドの完成に向けて取り組んでいきます。
2022年度には、本格的な工事をスタートしますが、できる限り
自分たちできるところは、自分たちの手で行っていきます。寄付



によるご支援はも
ちろん、グラウンド
整備作業のボラン
ティアなど、できる
形での応援をよろ
しくお願い申し上
げます。

REALE ONLINE ACADEMY

レアーレオンラインアカデミー



2021年5月～2022年3月
11回開催 延500人参加



インタビュアー/つづみ 慶さん
全国コミュニティラジオ向けの番組や長野県
での番組をラジオパーソナリティとして担当。
2016年のシーズンのJリーグにおいて松本山雅
FCスタジアムでDJを務める。
「慶びであなたをつつみこむ」をモットーに情報
発信を行っている。

君には、世界を変える力がある!

レアーレワールド初の試みとして行われた「オンラインアカデミー」では、スポーツ、芸術、
経済など様々な分野で活躍するプロフェッショナルな方々を、レアーレアンバサダーとして
お迎えし、自分の人生を自分で切り拓くことの大切さ、夢を叶えるために大事なことなど
それぞれの知識と経験を、青少年に語っていただきました。

ご登壇して下さった10名のレアーレアンバサダー



野田雅恵さん
経営者
元バレエ団員&教師



地下圭多さん
青年起業家



Yonas Sileshiさん
元サッカー選手
レストラン経営者



Shah Hussain Shahさん
柔道オリンピック選手



安彦考真さん
挑戦者



平岡浩司さん
パーソナルトレーナー
元競輪選手



坂田記一さん
プロサッカー選手マネジメント
元プロサッカー選手



若林美里さん
プロサッカー選手



築館範男さん
サッカー指導者



浦田拳一さん
音楽家
ファゴット奏者

2021年度(令和3年度)の会計報告

活動計算書

一般正味財産増減の部	
【経常収益】	
1 会費 (正会員会費、賛助会員会費)	953,000
2 寄付 (寄付金、ボランティア受入評価益)	10,296,372
3 助成金等	1,209,000
4 事業収益	15,276,512
5 その他収益	5,713
経常収益合計①	27,740,597
【経常費用】	
1 事業費 人件費	5,857,749
その他経費	14,480,773
2 管理費	2,634,005
経常費用合計②	22,972,527
税引前当期一般経常増減額 (①-②)	4,768,070
法人税、住民税及び事業税	80,900
当期一般正味財産増減額	4,687,170
前期繰越一般正味財産額	1,483,115
次期繰越一般正味財産額③	6,170,285
指定正味財産増減の部	
寄付金	10,354,000
一般正味財産振替額	▲ 3,096,946
当期指定正味財産増減額	7,257,054
前期繰越指定正味財産額	584,000
次期繰越指定正味財産額④	7,841,054
次期繰越正味財産額 (③+④)	14,011,339

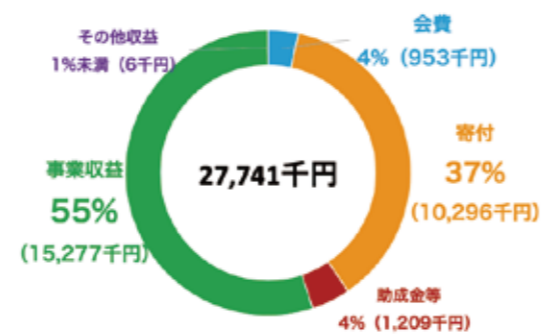
貸借対照表

資産の部	
1 流動資産	
現金預金	14,561,251
売掛金	153,381
商品	184,676
未収入金	471,500
前払費用	43,750
流動資産合計	15,414,558
2 固定資産	
工具器具備品	709,363
土地	15,000,000
固定資産合計	15,709,363
資産合計	31,123,921
負債の部	
1 流動負債	
未払金	1,299,981
未払費用	14,279
未払法人税等	80,900
預り金	4,593
流動負債合計	1,399,753
2 固定負債	
長期借入金	15,712,829
固定負債合計	15,712,829
負債合計	17,112,582
正味財産の部	
1 指定正味財産	
前期繰越指定正味財産	584,000
当期指定正味財産増減額	7,257,054
指定正味財産合計	7,841,054
2 一般正味財産	
前期繰越一般正味財産	1,483,115
当期一般正味財産増減額	4,687,170
一般正味財産合計	6,170,285
正味財産合計	14,011,339
負債及び正味財産合計	31,123,921

収益の推移(2017~2021年度)



2021年度収益の内訳



2021年度もたくさんのご支援をありがとうございました!

レアーレワールドを支えてくださった企業・団体の皆さま

- Athlete Firm Atelier YOKO UEDA 伊豆シャボテン動物公園グループ 医療法人社団KMR 美しが丘SC
 浦和レッズハートフルクラブ SSIZU SSP Group株式会社 大仁SSS オルカ鴨川IFC 株式会社あすさば
 株式会社伊原工業 株式会社MKコーポレーション 株式会社ゼロカラ 株式会社京浜美装 株式会社スーペルルーナ
 株式会社chikyu bito 株式会社日本ネオライズ 株式会社ピクス 株式会社ビーム・ベンチャー 株式会社ベストプロデュース
 株式会社満宏 株式会社癒快 G-word KLANKA 監物鮮魚店 合同会社アーツイノベーター・ジャパン
 さなるSSS 下野谷レッグスFC 西南学院大学サッカー部 CIBCABAN de' Afrique 沼津中央高校サッカー部
 ピッツェリア ジターリア ダフィリップ 秀丸 ファイテンショップららぽーと沼津店 富士通沼津サッカー部
 ペルジャール事業 makahou ミラコロ合同会社 もみほぐし道場いやしMAX 矢作SC 有限会社木村衛生社
 有限会社三村商事 有限会社レマン 横浜ゴム株式会社 YOKOHAMAまごころ基金 魯山人倶楽部株式会社

Special Thanks

伊藤慶幸・明子

※五十音順 敬称略

2021年度は、84名の会員様に賛助会員として、継続的にサポートしていただきました。また、200名近い個人の方々からご寄付をいただいております。心より感謝申し上げます。



2021年度は、公益財団法人JKA「競輪公益資金による補助事業」の補助金により、新型コロナウイルス感染症感染予防・拡大防止対策を行いました。

レアーレワールドの活動は、皆さまからのご寄付によって行われています。
 2022年度も、日本や世界の子どもたちのための活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

継続して応援する
 マンスリーサポーター登録
 毎月1,000~3,000円



自由な金額での
 単発の応援もありがたく
 お受けしています。



※オンライン上で簡単にカード決済していただけるようになりました。

- ・イベント時のスポンサーとなる
- ・活動に必要な物品の寄付で支援する
- ・ボランティアとして活動する
- ・「ヒムカフェ」を購入する
- ・SNSなどでシェアして応援する

皆さまのできる
 カタチでの応援を
 よろしく
 お願いします。

ゆうちょ銀行への振り込みもご利用いただけます。

銀行名 ゆうちょ銀行 口座番号 5838099
 店名 二三八(ニサンハチ) 口座名義 特定非営利活動法人レアーレワールド
 店番 238 記号 12350
 口座の種類 普通預金 番号 58380991

レアーレワールドは認定NPO法人です。
 レアーレワールドへの寄付金は、税制優遇の対象となります。

個人の方が寄付金を支出した場合は、寄附金控除として、税額控除が所得控除のいずれか有利な方を選択することができます。

寄附金控除を受けるには、確定申告が必要です(年末調整等では控除できません)。この時に、当団体が発行した領収書の添付が必要になりますので、領収書は大事に保管してください。

法人が支出した認定NPOへの寄付金につきましては、一般寄付金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入することができます。